

# 施策評価管理シート

施策体系	政策	1	支え合い 健康でいきいきと暮らせるまち	2022(令和4)年6月作成	
	基本施策	1	人を大切にする社会の創造	担当部局(室)名	部局長名
	施策	1	人権尊重	地域環境部	山本 有志

## 1. 施策の基本方針(目指す将来像)



○ 市民一人ひとりが自己の人権のみならず他者の人権についても正しく理解し、互いの違いを豊かさとして尊重し合い、尊厳をもって共存できる「人権尊重都市」の実現を目指します。  
 ○ 関係機関、団体と連携し、家庭、学校、地域、職場等あらゆる場で人権・同和教育、人権啓発に取り組み、人権感覚豊かな市民を育み、部落問題をはじめ様々な人権課題の解決を目指します。  
 ○ 同和問題解決の拠点施設である隣保館、教育集会所、児童館等を「人権のまちづくり」の拠点施設と位置付け、機能強化と効率的運営を図ります。

## 2. 令和3年度の実施内容及びその成果



・コロナ禍のため一部の講座や人権週間ふれ愛コンサート(人権センター委託事業)は中止しましたが、企画を変更し「人・愛・エール ナバリエール2021」と題し、関係団体、学校からメッセージ動画をいただき、市HP内に特設ページを設け、市公式You Tubeチャンネルにて配信し、3,085回の再生回数がありました。人権ワークショップ課題別講座、人権相談力アップ講座、人権啓発企業研修会(共催)につきましては、合計207名(前年度対比+54)が参加しました。コロナ禍であっても手法を工夫し、広く啓発することができました。  
 ・人権教育主事、社会同和教育指導員を人権学習会や、市内の学校(保・幼・小・中・高)における人権・同和教育指導案検討会議、中学校区人権教育推進協議会に延べ113名を派遣(前年度対比-52)し、市内全域における人権・同和教育の推進に取り組みしました。  
 ・三重県人権・同和教育研究大会は、コロナ禍により分科会が中止となり、全大会のみオンラインで開催され、51名が参加しました。  
 ・コロナ禍におけるインターネットを中心とした誹謗中傷、差別書き込みに対して、伊賀地域差別撤廃連協と連携し、モニタリングを行うと共に、昨年作成した懸垂幕「STOP! コロナ差別」を引き続き市庁舎へ掲揚しました。  
 ・「多文化共生センター」は設置3年目を迎え、日本語教室延べ378名、相談103件、通訳サポート12件、翻訳サポート32件などの実績を上げ、年間利用者数は1,034名となりました。更なる充実を図るため「名張市多文化共生指針」「名張市多文化共生センター事業実施要綱」を策定しました。

## 3. 施策指標(目標)の達成状況



施策指標(目標)の内容(単位)		基準値(H29)	2018(H30)	2019(R1)	2020(R2)	2021(R3)	2022(R4)	進捗率
部落差別をはじめとするあらゆる差別をなくすために、自らができることを考え、取り組みたいと思っている市民の割合(%)	目標	-	-	-	-	-	68.0	
	成果	64.1	64.4	64.3	68.0	68.5		100.0%
地域づくり組織等による様々な人権課題に関する学習会等の開催回数(回【延べ数】)	目標	-	-	-	-	-	1,800	
	成果	834	1,157	1,255	1,281	1,537		72.8%
隣保館で開催される講座等への参加者数(人【延べ数】)	目標	-	-	-	-	-	20,000	
	成果	11,962	16,065	24,883	28,112	32,475		100.0%

## 4. 成果や施策指標の状況を踏まえた課題や現状の分析



・「部落差別をはじめとするあらゆる差別をなくすために、自らができることを考え、取り組みたいと思っている市民の割合」が、前年度比で0.5ポイント増加しましたが、「2021年度伊賀地域インターネット差別表現書き込み分析調査研究事業実施報告書」で「その他(個人情報)」に次いで、「同和問題」に関する書き込みが全体の32.9%を占めています。「部落差別解消推進法」を踏まえ、時代の変化に伴うインターネット上における差別書き込みについてのモニタリングを継続すると共に、今後も部落問題の解決を自分事として捉えられるような人権教育・啓発に取り組む必要があります。  
 ・コロナ禍でありながらも、前年度256回の学習会を開催しましたが、引き続き「生涯学習＝人権教育」を基本理念に、各地の市民センターを人権教育・啓発の拠点と位置付け、地域づくり組織と連携していく必要があります。  
 ・多文化共生社会の実現を目指し設置された名張市多文化共生センターの運営について、防災ネットワークや翻訳のスタッフ体制整備など取り組みたい事業も多く、住民ニーズと財源確保も踏まえ持続可能な組織運営と事業展開が必要です。

## 5. 分析結果を踏まえた施策の実施内容(令和4年度以降)



・引き続き人権教育主事、社会同和教育指導員の派遣による、社会、学校両教育分野における人権教育・啓発の推進を図ります。  
 ・「第3次名張市人権施策基本計画」に基づき、各種行政計画の推進に際しては「人権」の視点を持って施策に取り組むよう促しつつ、名張市差別撤廃審議会を開催し、これまでの評価方法を見直すことで、各所属が人権の取り組みを推進しやすい方法の構築を目指します。  
 ・名張市人権センター、名張市人権・同和教育推進協議会との連携強化を図ります。  
 ・「性の多様性を認め合うまち・なばり」宣言を踏まえ、性的マイノリティの方々の生きづらさ解消に向けて、問題解決や啓発を進めます。また、県の「多様な性のあり方を知り、行動するための職員ガイドライン」を参考に名張市職員向けのガイドラインを策定します。  
 ・名張市多文化共生センター設置4年目として、運営受託者である名張市人権センターと連携を密にし、広報周知情報発信と各事業の充実を図り、次年度以降についてのセンター運営に係る財源確保に努めます。

## 施策を構成する主な事務事業

\*R3決算額が事業費1,000千円以上の事務事業を掲載しています（施設等維持管理、内部管理事務の事業を除きます）。

\*R4予算は、R4.4.1時点での金額を記載しています。（R3からの繰越額含む。）

\*R4予算のみ金額が記載されている事務事業（新規事業）は、R4の事業内容（計画）を記載しています。

単位：千円

会計	事務事業名	部局名	室名	令和3年度内容	R3決算額 (見込)	うち 一般財源	R4予算額
一般	人権・同和教育推進協議会運営補助金	地域環境部	人権・男女共同参画推進室	<p>人権・同和教育の研究や推進のため、関係各団体等で、研修会、学習会や交流会等の諸活動を展開している名張市人権・同和教育推進協議会の運営を補助し、行政との連携を密にした人権教育、人権啓発に取り組みました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・名張市人権・同和教育推進協議会運営補助金</li> <li>・定期総会 ※コロナ禍により書面決議</li> <li>・部会別研修会の開催</li> <li>  学校部会 4回</li> <li>  社会部会 4回</li> <li>  企業部会 1回</li> <li>  差別事象研究部会 3回</li> <li>  差別事象研究委員会 2回</li> <li>・広報紙発行 年2回</li> <li>・三重県人権教育研究協議会大会</li> <li>  ※コロナ禍により全体会のみオンラインで実施(51人参加)</li> <li>・関連団体との連携強化</li> </ul>	1,030	1,030	1,000
一般	人権センター運営交付金	地域環境部	人権・男女共同参画推進室	<p>部落問題や国際化、少子高齢化などに起因する様々な人権・同和問題を解決するため、人材の育成、教育・啓発、相談、調査を行っている名張市人権センターに対して交付金を交付しました。</p>	1,740	1,740	300
一般	人権のまちづくり推進委託事業	地域環境部	人権・男女共同参画推進室	<p>人権尊重都市名張の実現に向けた様々な取組を、先駆性、機動性、独創性、柔軟性が期待できる実施主体に事業委託しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人材育成分野：人権学習指導者育成(113人)、人権に関する相談員育成(49人)</li> <li>・人権教育啓発分野：人権週間に「人・愛・エールナバリエール2021」と題し、関係団体、学校からメッセージ動画をいただき、市HP内に特設ページを設け、市公式YouTubeチャンネルにて配信(再生回数3,085回)、人権啓発企業研修会(45人)、ライブラリー整備充実、情報発信等</li> <li>・相談分野：相談員による人権相談(20回)、人権に関する学習相談</li> <li>・調査・研究分野：人権教育・啓発推進のための調査・研究</li> <li>・男女共同参画運営センター：専門相談の受付等</li> </ul>	2,996	0	14,415
一般	人権推進費	地域環境部	人権・男女共同参画推進室	<p>人権尊重都市名張市の実現を目指すとともに、人権尊重思想の普及高揚を図り、人権相談をはじめとした人権擁護の活動を展開しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人権週間啓発懸垂幕、のぼりの設置(12月)</li> <li>・人権作品の募集 ポスターの展示(市役所、やなせ宿)</li> <li>・人権作品のカレンダー作成</li> <li>・コロナ差別啓発懸垂幕の掲揚</li> <li>・人権の花運動：子ども達が育てた花苗を高齢者施設へ寄贈(歳持小)</li> </ul>	1,026	673	996

## 施策を構成する主な事務事業

\*R3決算額が事業費1,000千円以上の事務事業を掲載しています（施設等維持管理、内部管理事務の事業を除きます）。

\*R4予算は、R4.4.1時点での金額を記載しています。（R3からの繰越額含む。）

\*R4予算のみ金額が記載されている事務事業（新規事業）は、R4の事業内容（計画）を記載しています。

単位:千円

会計	事務事業名	部局名	室名	令和3年度内容	R3決算額 (見込)	うち 一般財源	R4予算額
一般	多文化地域共生社会推進事業	地域環境部	人権・男女共同参画推進室	名張市市民情報交流センター内の多文化共生センターで、外国人に対する総合支援を行いました。 ・国別コミュニティ交流サロン（15人） ・日本語教室（延べ378人）、子ども学習教室（延べ13人） ・相談（103件）、通訳翻訳依頼（44件） ・ホームページ、SNS等による多言語、やさしい日本語での情報発信 ・企業及び各市民センター等への訪問、周知及びセンターパンフレット等の設置依頼 ・来館799人、電話130件、メール105件、利用者計1,034人 ・「名張市多文化共生指針」作成	4,108	2,054	0